

令和4年度 学校評価アンケートの分析と考察

愛西市立佐屋中学校

アンケート実施時期

令和4年12月12日（月）～12月21日（水）

アンケート対象・回答率

保護者90% 生徒89% 教職員100%

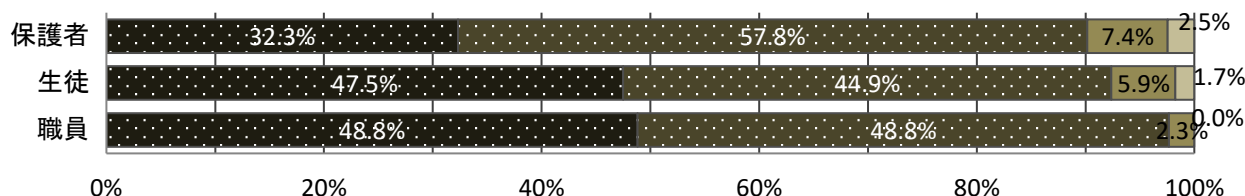
グラフの見方



1 ㊦佐屋中学校は、お子さんを「通わせたい」と思える学校になっていると思いますか。

㊦佐屋中学校は、「通いたい」と思える学校になっていると思いますか。

㊦佐屋中学校は、「通わせたい」「通いたい」と思える学校になっていると思いますか。



○成果と▲課題

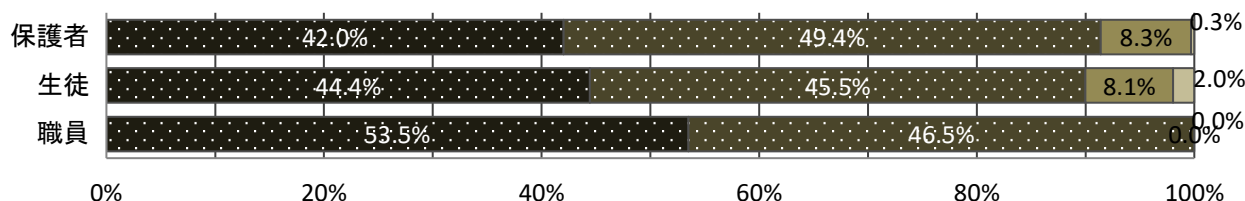
- 「学校が大好き、部活が大好き、毎日嫌がらず、楽しく登校する姿が見られる」「先生方が元気で一体感があるので、子どもたちにも良い循環を起こしている」などの意見があり、教育活動や学校の雰囲気について評価を得ている。
- ▲ 「子どもたちが自信を持てるよう、背中を押してくれる声かけをお願いしたい」「先生に対する望ましくない態度や暴言などがある」との意見があり、丁寧な支援・指導が必要である。

学校としての改善策

- 誰もが安心・安全に過ごせる教育環境の提供、生徒一人一人への丁寧な指導・支援の充実と徹底にさらに努め、地域や保護者から信頼される学校づくりを進めます。
- 学校生活のあらゆる場面が、生徒を成長させる機会であると捉え、毅然たる指導、丁寧で粘り強い指導・支援を進めます。特に、指導後の声かけなどのフォローを大切にします。

2 ㊦学校からの各種通信、HP、メール等で情報提供は役に立っていると思いますか。

㊦学校から家庭への連絡、各種通信、HP、メール等での情報発信は役に立っていると思いますか。



○成果と▲課題

- 「いろいろな連絡は、メールを通して伝わっているので、良い方法だと思う」「子どもがプリントを提出しないので、メールでのお知らせはとても助かっている」などのご意見があり、評価を得ている。
- ▲ 「子どもから聞いて分かる」「他の親に聞いて分かることがある」との意見があり、さらに丁寧な情報提供や発信を行う必要がある。

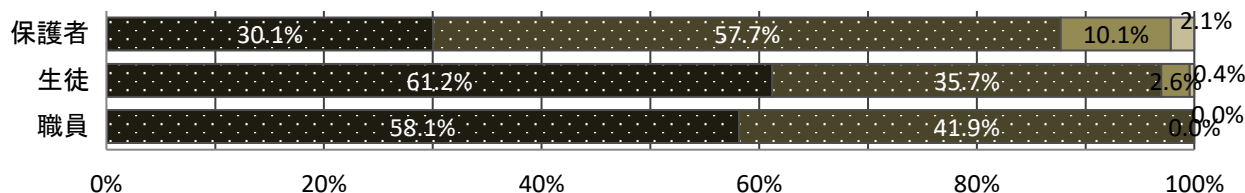
学校としての改善策

- 今後も、学校ホームページの更新や各種通信の定期的な発行を通して、タイムリーな情報発信を行います。
- メール配信を利用した情報発信により、保護者への周知をより一層図るとともに、利便性の向上に努めます。

3 ㊦学校は、子どもたちの成長につながる教育活動に学校全体で取り組んでいると思いますか。

㊦先生たちは、協力して生徒の成長のために取り組んでいると思いますか。

㊦学校は、子どもたちの成長につながる教育活動に学校全体で取り組んでいると思いますか。

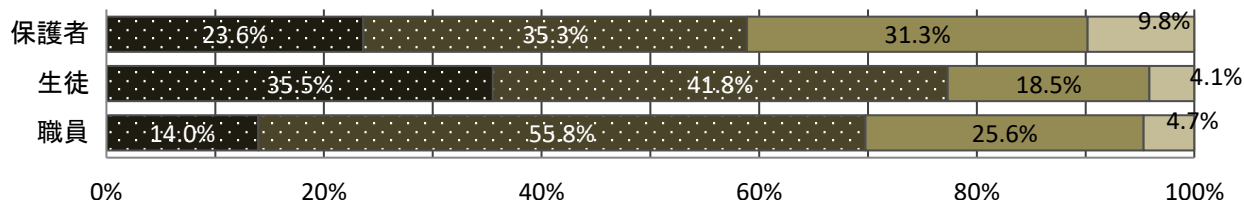


○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 「学校全体でいろいろな体験やボランティア活動ができ、成長できたとうれしく思っている」「厳しい指導は、子どもたちの将来に役立つと思う」などの意見があり、教育活動について評価を得ている。 ▲ 「授業参観が少なく、教育活動の様子がわからない」との意見があり、直接、学校の様子をご覧いただく機会の確保が必要である。	- 学校での様々な教育活動を通して、生徒の成長を促すとともに、生徒の主体的な活動を展開できるように工夫・改善に努めます。 - 学校公開日などの参観機会を確保し、生徒が活動する姿を見ていただけるように努めていきます。

4 ㊦お子さんは、主体的に家庭学習に取り組んでいると思いますか。

㊦あなたは、主体的に家庭学習に取り組んでいると思いますか。

㊦自分は（本校では）、生徒が主体的に家庭学習に取り組めるような手立てを講じていると思いますか。

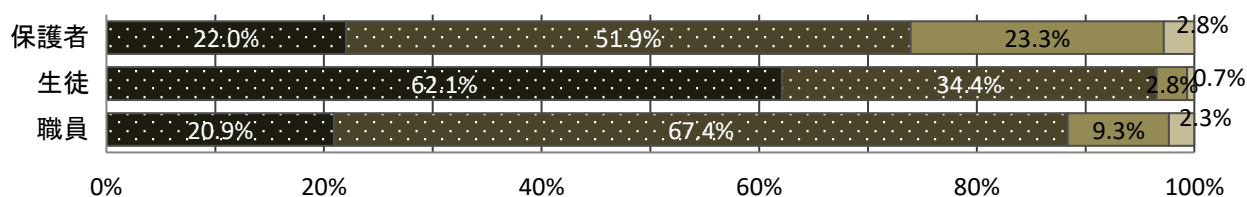


○成果と▲課題	学校としての改善策
▲ 学校からの課題には、おおむね取り組むことができているが、主体的な学びとはなっていない。	家庭で自主的・継続的に学習に取り組むことができるよう、タブレット端末の利用促進とともに、生徒の負担過多とならないような学習計画にも努めます。

5 ㊦授業では、生徒が考えたり、意見を交わしたりする活動を大切にしていると思いますか。

㊦先生たちは、授業の中で考えたり、意見を交わしたりする活動を大切にしていると思いますか。

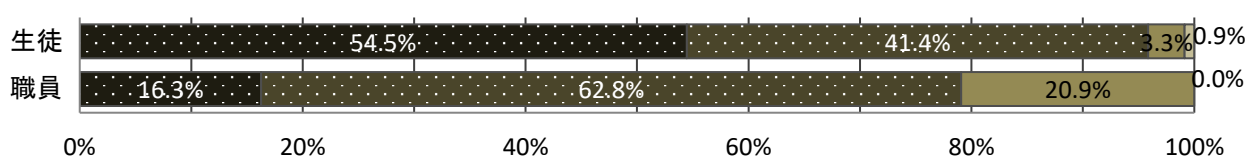
㊦自分は（本校では）、「主体的・対話的で深い学び」を意識し、生徒同士の対話を広げられるような授業づくりに努めていると思いますか。



○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 「仲間と一緒に活動することは、とてもよいと思う」などの意見があり、各教科の学習において協働したり、対話を多くしたりする活動が定着している。 ▲ 「子どもの考えることには大きな可能性や種が詰まっているので、芽を摘まないように見守ってほしい」との意見があり、子どもたちの豊かな発想や思いを引き出せるような教師の指導力向上が必要である。	- 各教科の授業において、生徒によるアウトプット（学習したことを表現する）の機会を積極的に取り入れた授業づくりや、生徒の多様な考えや意見を引き出し、深められるような指導や支援に努めます。 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を行い、生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力の定着に努めます。

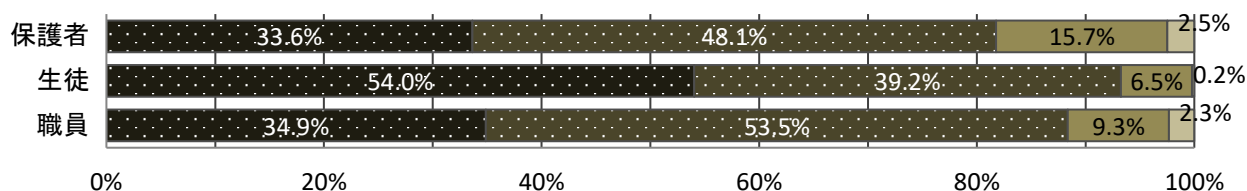
6 ㊦道徳の授業では、問題や課題について、自分の意見を発表したり、仲間と対話したりする機会があると思いますか。

㊦自分は（本校では）、「考え、議論する道徳」を意識した授業づくりができていると思いますか。



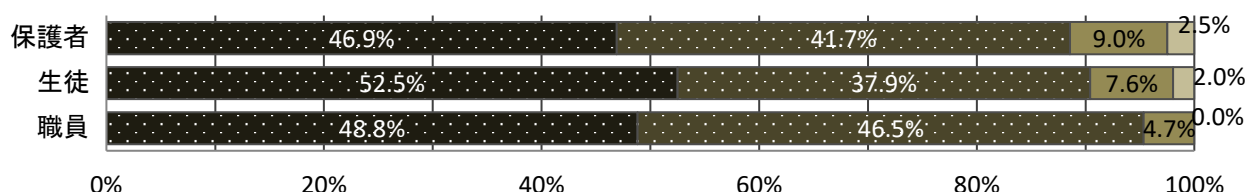
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 「特別の教科 道徳」となって5年目、生徒は、他者の考えから学び、多角的・多面的な視点から課題に向き合うことができている。 ▲ 「班で話す時間を設けてほしい」との意見があり、全教師の授業力向上が必要である。	- 授業では、ねらいにせまる手立てや進め方を工夫するとともに、生徒の考えを引き出したり、自分事として考えることができたりするよう、多角的・多面的な見方や考え方に触れさせるように努めます。 - 教師の研修の機会を計画的に設定します。

- 7 ㊦授業では、タブレット端末やＩＣＴ機器を取り入れた活動が増えていると思いますか。
 ㊦授業では、タブレット端末やＩＣＴ機器を取り入れることにより、理解しやすくなっていると思いますか。
 ㊦授業では、タブレット端末やＩＣＴ機器を積極的に取り入れ、学習成果を高める工夫をしていると思いますか。



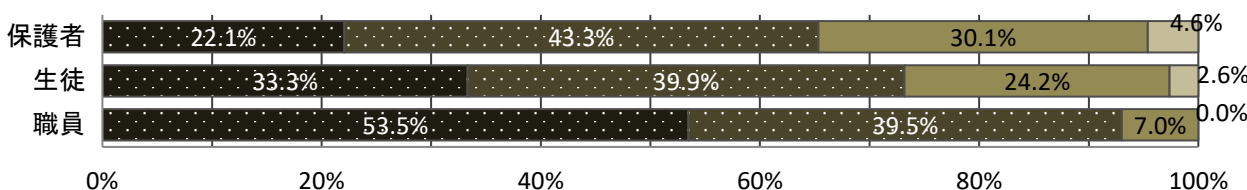
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 調べ学習や学習支援アプリを使用している意見集約など、活用の幅が広がり、生徒による主体的な学習活動が定着している。 ▲ タブレット端末を授業以外でも活用できるようにすることが必要である。	- 各教科で、タブレット端末を利用した学習活動が定着してきたが、さらに教育効果を高めるために活用方法や活用場面を工夫します。 - タブレット端末を家庭へ持ち帰る機会を増やし、家庭での利用推進を図るとともに、生徒へ適正な利用についての指導を継続的に行います。

- 8 ㊦お子さんは、学校の行事を楽しんだり、意欲的に参加したりしていると思いますか。
 ㊦あなたは、学校の行事に意欲的に参加していると思いますか。
 ㊦学校の行事は、生徒が主体的・意欲的に活動することができるよう企画して（されて）いると思いますか。



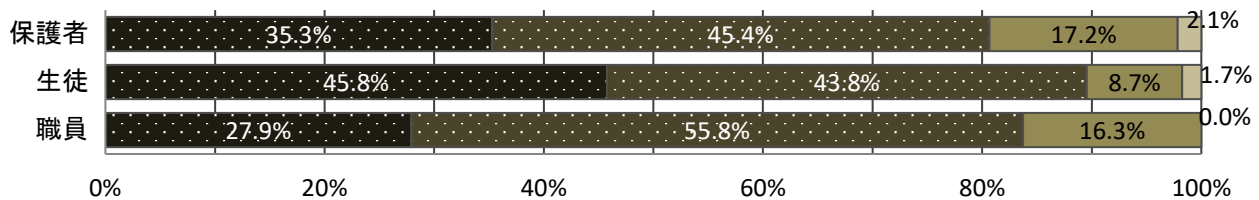
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 「アイデアに富んだ行事を楽しみにしている」「いつも盛り上がってよいと思う」などの意見があり、保護者のご理解に感謝しております。 ▲ 授業時間の確保に向けて、行事全般の見直しが必要である。	- ねらいを明確にし、準備・後片付けも工夫して、生徒の意見を取り入れた有意義な行事を計画・実施していきます。 - 生徒が活躍できる場づくりと保護者にお子様の成長を実感していただける機会になるよう努めます。

- 9 ㊦お子さんは、失敗を恐れず挑戦しようとする気持ちが出てきていると思いますか。
 ㊦あなたは、失敗を恐れず挑戦しようとしたことがありますか。
 ㊦学校は、生徒が失敗を恐れず挑戦できる環境づくりに努めていると思いますか。

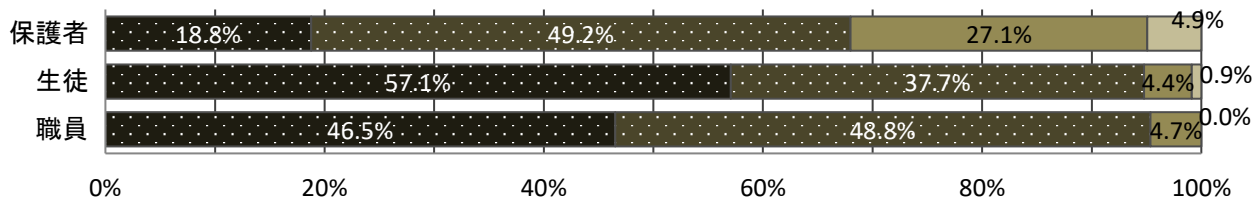


○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 学校生活において“失敗しても大丈夫”という意識が定着し、積極的に活動したり、新しい取組を考えたりする生徒が多くなった。 ▲ 「やってみたいけど、失敗したら怖い」、取り組む前から「無理」と考える生徒が、まだまだいる。	- 失敗したとき、うまくいかなかったときこそが成長や学びの機会であると捉え、生徒による主体的な活動を後押しできる教育環境づくりを引き続き行います。 - 生徒一人一人に目を向け、声をかけるなどの支援を丁寧に行い、自己成長につなげられるような指導を継続します。

- 10 ㊦お子さんは、挨拶や返事など基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか。
 ㊦あなたは（自分）は、挨拶や返事などがしっかりできていると思いますか。
 ㊦挨拶や返事などが、しっかりできる生徒が増えてきたと思いますか。

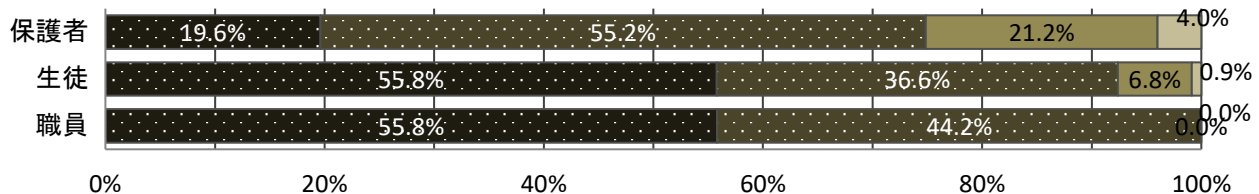


- 11 ㊦学校は、いじめアンケートや教育相談活動などを丁寧に行っていると思いますか。
 ㊦先生は、悩みや相談などを丁寧に聞いていますか。
 ㊦自分は（本校では）、生徒の悩みや相談などを丁寧に聞いたり、誠実に対応したりしていると思いますか。



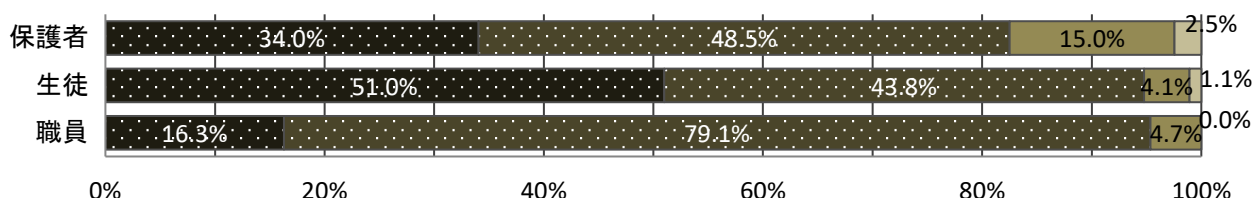
○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 計画的なアンケートや教育相談により、生徒の悩みや相談内容をタイムリーに把握し、早期解決につながるが増えている。 ▲ 生徒のアンケートや相談の機会は確保されてきたが、保護者の話を聞く機会がまだ少ないように感じる。	- 全ての職員で全ての生徒に目を向け、学校全校としての生徒支援や個別対応を進めていきます。 - 保護者の声を聞くことができるよう、授業参観、三者懇談、部活動懇談以外でも、相談しやすい雰囲気づくりに努めます。

- 12 ㊦学校は、問題の未然防止や早期解決・解消のために迅速な対応をしていると思いますか。
 ㊦先生は、困ったとき、嫌なことがあったときなど、すぐに対応していると思いますか。
 ㊦学校は、問題の未然防止や早期解決・解消のために迅速な対応をしていると思いますか。

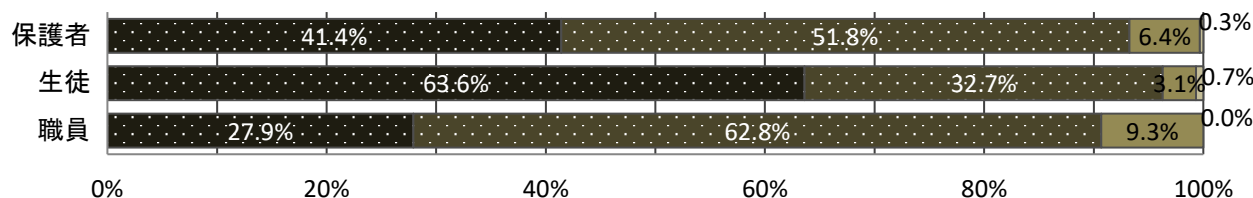


○成果と▲課題	学校としての改善策
○ 「先生方が親身になって子どもたちに対応してくれている」「生活態度や子どもたちの様子をしっかりと見てくれている」など、評価を得ている。 ▲ 「問題発生時に、職員同士で共有や相談・報告はできているのか」「指導の中で教師の口調が強くなり過ぎるところがある」との意見があり、信頼される教職員であり続ける自覚が必要である。	- 校内での情報共有を確実に行うとともに、指導方法の改善や生徒への丁寧な対応（態度や言葉遣い等）をより一層徹底していきます。 - 家庭との連携を大切にし、協働して子どもの健全育成を図ることができるよう努めます。 - スクールカウンセラーの活用や専門機関との連携を強化し、生徒のみならず保護者の不安解消に努めます。

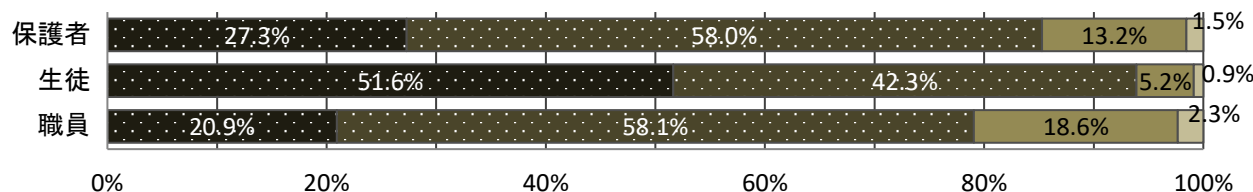
- 13 ㊦お子さんは、約束やきまりを意識した生活をしていると思いますか。
 ㊦あなたは、約束やきまりを意識して生活をしていると思いますか。
 ㊦生徒は、約束やきまりを意識した生活をしていると思いますか。



- 14 ㊦お子さんは、まわりの人を大切にして生活をしていると思いますか。
 ㊦あなたは、まわりの人を大切にして生活をしていると思いますか。
 ㊦生徒は、まわりの人を大切にして生活をしていると思いますか。

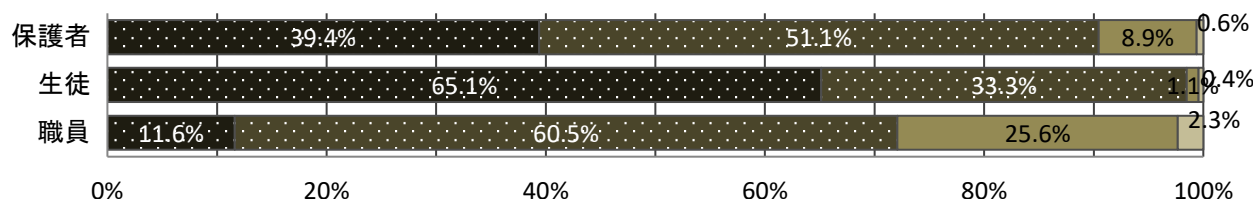


- 15 ㊦学校の施設は、安心・安全に過ごすことができる環境になっていると思いますか。
 ㊦学校施設は、生徒が安心して過ごすことができる環境になっていると思いますか。



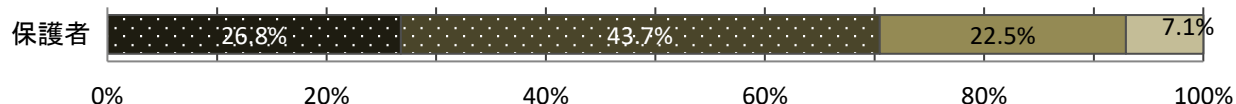
○成果と▲課題	学校としての改善策
▲ 特別教室へのエアコンの追加設置やトイレの洋式化、学校施設の老朽化など、環境改善に伴う改修については、毎年のように意見をいただき、その都度、市当局へ要望し続けているが、順次の改修となっている。	- 引き続き、生徒の安全対策と教育環境の充実を重点とした整備・修繕を進め、市当局へも施設改修についての要望を行っていきます。 - 自分たちでできる生活環境整備などは、PTAや協力企業等と連携し取り組んでいきます。

- 16 ㊦お子さんは、登下校の際、交通ルールや交通マナーを守っていると思いますか。
 ㊦あなたは、登下校の際、交通ルールや交通マナーを守っていると思いますか。
 ㊦生徒は、登下校の際、交通ルールや交通マナーを守っていると思いますか。

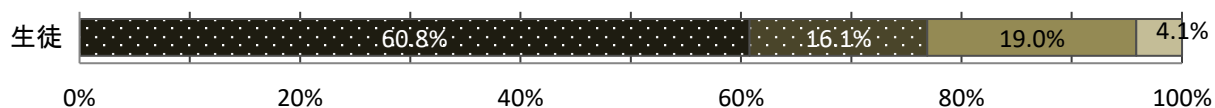


○成果と▲課題	学校としての改善策
▲ 生徒の自転車マナーや登下校時の状況について、地域から心配な声をいただいている。 ▲ 「通学路と自転車通学規定を見直してほしい」「横断歩道や信号機の増設、自転車専用道路の設置してほしい」などの要望があり、関係機関との調整が必要である。	- 職員による交通指導を継続するとともに、交通安全教室などの機会を活用し、交通安全意識の啓発と事故防止に継続して取り組みます。 - 生徒の安全確保に向け、実態把握と対応策の検討、必要に応じて市当局や警察などと連携した指導や要望を行います。

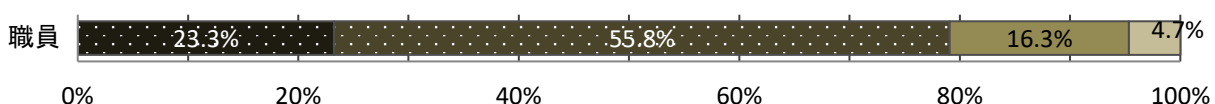
- 17 ㊦佐屋中学校がSDGsに取り組んでいることを知っていますか。



- ㊦あなたは、SDGsに関する学習を通して、自分で何かできることに取り組んでいますか。



- ㊦自分は（本校では）SDGsの意義を理解し、指導に生かすことができていると思いますか。



○成果と▲課題	学校としての改善策
○ SDG s 学習を通して、「様々な出来事を他人事ではなく、自分事として捉える」ことができる生徒が増えてきている。 ▲ 年間の指導計画への位置付けを行い、教育活動とのバランスが取れた実施を目指すことが必要である。	- 各教科の指導や行事等では、E S D（持続可能な開発のための教育）の視点とSDG sを関連させ、環境問題や差別、人権問題に取り組み、持続可能な社会づくりに関わる教育活動を計画的に推進します。 - 保護者にSDG sに関連する取組の啓発を行うとともに、理解を図るように努めます。

— ご意見に対する回答 —

すべてのご意見を掲載することはできませんでしたが、すべてのご意見を生徒にとってよりよい形に変えて取り組んでまいります。

Q.1 基礎学力の定着や生徒の実態に応じた適切な学習指導と授業時間数を確保してほしい。

A 学習指導要領や中央教育審議会などで示される今日の教育キーワードである「個別最適な学び」「協働的な学び」「主体的・対話的で深い学び」「令和の日本型教育」を実現するために必要な指導が行えるように職員研修や授業実践に取り組みます。また、行事の内容や実施期間の見直しによる厳選、定期テストや学力検査の結果を踏まえた学習指導の充実と授業時間数の確保を行っていきます。

Q.2 校則を見直してほしい。

A 昨年度より、生徒会や学年企画委員が中心となって、校則について考える活動が進められています。昨年10月の学校祭では、高等学校や企業に向けて実施したアンケート調査の結果が報告されました。今後は、地域の方々や生徒・保護者を対象とした調査活動などを工夫して行い、引き続き学校全体で考えていく予定です。

校則は、皆が気持ちよく過ごすことや公共の場を意識して作られています。本校では、「未来箱」に寄せられた生徒の意見から見直された校則もあります。

Q.3 トイレの洋式化や特別教室にエアコンを増設してほしい。

A 昨年度、市により南館の西トイレを全面改修していただきましたが、全てのトイレが一度に整備されることは難しいのが現状です。未改修のトイレについては、市当局へ継続して改修要望を行っていきます。また、特別教室へのエアコン増設についても、同様に市当局へ継続して設置要望を行っていきます。

現状では、トイレを含めた既存の施設や設備をきれいに保つために、PTAや協力企業等と連携して環境整備活動を進めています。今後も、多くの生徒や保護者のご協力をお願いします。

Q.4 部活動の時間が短くなったため、運動時間全体が減り、体力低下が心配である。

A スポーツ庁と文化庁が進める「部活動の地域移行」の動きと関連し、今後は、改革推進期である来年度から令和8年度までの間に学校での部活動がさらに変化する事が予想されます。市教育委員会や関係団体等と連携しながら、学校内外で生徒が活動する場の確保に努めていきます。

また、個々の目標に応じて、地域のスポーツ団体や文化団体、習い事に参加したり、将来に向けて資格を取得したりするなど、学校以外の地域で活動することも応援していきます。

Q.5 毎日、学校へ持っていく荷物（教材等）が多く、重たくて身体への影響が心配である。

A 本校では、令和元年度の“置き勉(OKB)プロジェクト”で、教科書等を学校へ置いていってよいというルールを生徒たちが考えました。何を置いていくかは自分で判断をしていますが、心配な場合は、お子様に持ち帰りの状況を確認して担任にご相談ください。また、保護者負担の軽減を図るため、教材等を厳選します。

学校評価の意見欄には、励ましや感謝の言葉も数多くいただきました。また、生徒からは、改善案も書かれており、よりよい学校にしていきたいという思いが伝わってきました。

今後も「失敗しても大丈夫」を合言葉に、「通いたい・通わせたい」学校づくりに努めていきます。

